

(一般質問)

質問日	令和6年12月10日（火）			質問方式	分割方式		
質問順位	5	会派名	浜松市政向上委員会	議席番号	2	氏名	鈴木 恵
表 題		質 問 内 容				答弁者の職名	
1 若い女性の流出による人口減少への対応について		本市の人口減少における最大の課題は、少子化と東京圏への若い世代の流出である。若い世代の中でも15～24歳以下の女性の転出が多く、東京圏などに転出した後、本市に戻って来ていない。 若い女性については、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の調査によると、地元が女性にとって働きにくい環境であるために東京に移動している可能性がある」と指摘されている。このため、女性が能力を発揮して働ける環境の整備や女性の活躍に向けた意識改革を積極的に進めることが重要となっている。 これまで本市は、子育て世代の働く環境の充実支援に力を入れてきたが、人口減少の状況を1日も早く脱却・転換するためには、女性の東京圏への流出課題についても目を向けるべきだと考える。 そこで、若い女性の本市からの流出課題に特化して、以下伺う。 (1) 女性の東京圏への流出についての要因、解決策をどのように考えているか。特に、女性の活躍に向けた意識改革が必要と考えるが、どう進めていくか伺う。 (2) 本市はものづくりの街というイメージがある。東京圏への転出超過が多い傾向がある若い女性の地元企業への就職促進についての考えと、今後の具体的な取り組みについて伺う。				中野市長 	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	きと考えるがいかがか。さらに、条例に定めたとおりに利用者等の意見を必ず聴くようにできないか。 (2) 公共交通施設では、低床バス導入や電車ホームへの柵の取り付けなどが進められているところではあるが、さらなるユニバーサルデザインのスパイラルアップに取り組んでいただきたい。そこで、交通事業者、行政、障がい者を含む利用者と、意見交換する場を設置してはどうか。 (3) 第11条には、「市は、ユニバーサルデザインによるまちづくりに関し、市民及び事業者の理解を深めるよう広報に努めるとともに、必要な情報を提供するものとする」とある。そこで、公共施設、民間施設・店舗のUDマップを作成したらと考えるがどうか。 (4) 第8条には、庁内体制が規定されている。施策や事業について、ユニバーサルデザインのスパイラルアップを市民が求めた場合、担当がどこか分からない。条例では市長が総合調整を行うとなっているが、どの部署が窓口となり、庁内の総合調整を行うのか。	濱田都市整備部長 新谷市民部長 〃
3 障がい者の防災対策の推進	昨今、災害が続いていて、いつ発生するのか分からない。災害時要援護者、特に障がい者の避難は容易なことではない。 (1) 発災直後における障がい者の避難体制で、個別避難計画の策定が進んでいない。自治会等との作成となっているが、福祉の専門家と一緒に作るとしてはどうか。また、避難所を経由して、福祉避難所に行くのではなく、福祉避難所に直接行けるケースを設けるつもりはないか。 (2) 在宅避難者を含めた障がい者の避難者情報をどう把握していくつもりか。また在宅避難者への情報、物資などの支援はどのようなになっているのか。 (3) 障がい者に向けて、平時、災害発災時、避難方法（在宅避難、福祉避難所）などについての事前に知識や情報が必要だが、現在混乱している状況だ。今後どのように周知していくのか。	小松健康福祉部長
4 増え続ける海洋ゴミ対策について	令和2年馬込川の調査に続いて、昨年佐鳴湖の堆積ゴミ、マイクロプラスチックの調査を実施した。ホットスポットには、プラスチックを中心としたゴミが多数見られ、タバコの吸い殻、ポリ袋、不織布マスク、食品容器などが多く、漁具や農業資材の排出も認められた。また、マイクロプラスチックには人工芝由来のものが多かった。海洋ゴミの7～8割は街から来ると言われている。 そこで、以下何う。 (1) タバコの吸い殻などは、ポイ捨てによるマナー違反で排出されたゴミである。身近にあるポイ捨てが集まる場	山田環境部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	所を無くすにはどうしたらいいかについて、官民が連携して考える場をつくり、アクションに繋げることができないか。 (2) 人工芝については、令和3年の一般質問で取り上げたが、その後の公共施設での人工芝の利用状況、排出抑制はどのようになっているのか。民間のゴルフ場、練習場のほか、民家からの排出もあるが、どのように流出防止を進めているのか。 (3) 漁具の流出防止はどのように行なっているのか。	山田環境部長 清水農林水産担当部長
5 新川を活用したまちづくり	馬込川水系の準用河川新川は、布橋一丁目から街中を通り、馬込川につながる4キロあまりの川で、まさにまち空間を通る都市河川である。しかし、現在はコンクリートの護岸、中心市街地の遠州鉄道高架下などの一部区間は暗渠となり、水辺と触れ合う機会が失われている。新川を活用して、賑わいを創出できないかと考える。 (1) The GATE HAMAMATSU跡地は建物が撤去され、荒れた空間となっている。新川の活用を進める上で重要な場である。新川の活用を含めて、今後の利活用について伺う。 (2) 市の中心部を流れる準用河川新川における、河川空間とまち空間が融合した良好な水辺空間の創出の考えについて伺う。	北嶋産業部長 平井土木部長